のだめ音楽会について～
第4弾は「千秋VS.ミルヒー」ロシア音楽編!

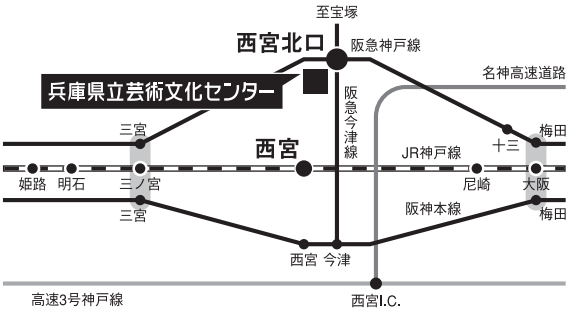
クラシック音楽を通して音大生の青春を生き生きと描くコミック「のだめカンタービレ」。この作品は老若男女を問わず幅広い年齢層に支持され、クラシック音楽の世界に新しい風を巻き起こしました。原作の主人公は野田恵と指揮者志望の千秋真一。2人が桃ヶ丘音楽大学で出会い、パリに留学。その様子をコメディータッチで展開して、2,800万部以上の売上を示しています。これまでに3回、兵庫県立芸術文化センターで公演を実施してきましたが毎回超満席で、大好評をいただいております。
今回は、『千秋VS.ミルヒー』と題してロシア音楽の名曲の数々をお届けいたします。

©ニノ宮知子／講談社

2006年、のだめ音楽会誕生。そして皆さんのまちへ!

“のだめカンタービレ”のドラマ放送がはじまる前の2006年1月、春日井市（愛知県）で「茂木大輔の生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会」が初演されました。でも何故、春日井市で…?
“のだめ音楽会”は、のだめの熱烈なファンである、かすがい市民文化財団スタッフKと、茂木さんのマネージャーMが以前、同じ職場で働いていたという不思議な縁がきっかけで誕生しました。
「漫画の素晴らしさと、音楽の楽しさを、わかりやすく伝えたい!」茂木さんのその想いを、かすがい市民文化財団のスタッフが手作りで映像にし、オーケストラとコラボレーションすることで、新たな“のだめワールド”を創り上げました。
“のだめ音楽会”は2008年までに全国20会場で計34公演開催し、延べ5万6千人の“のだめ”と音楽を愛するお客様にご覧いただきました。
2009年、茂木さんとかすがい市民文化財団は、このコンサートを全国にお届けします。さあ、楽しい音楽の時間デス★

兵庫県立芸術文化センター●交通のご案内



便利なアクセス!!
大阪・梅田からも神戸・三宮からもホールまで15分
（阪急電車特急乗車の場合）

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ（連絡デッキで直結）
◎JR 西宮駅より徒歩15分（阪急バス7分）
※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

出演者プロフィール

●茂木大輔（指揮・おはなし）

写真:竹原伸治

東京都出身。国立音楽大学在学中から新星日本交響楽団のオーボエ奏者として活躍。1981年ミュンヘン国立音楽大学マイスターコースに留学し、ギュンター・パッシン氏に師事。87年にはシュトゥットガルト・フィルハーモニー管弦楽団に第1オーボエ奏者として入団、巨匠ヘルムート・リリンク率いるバッハ・コレギウムでは録音、演奏旅行、指揮セミナーなどに参加した。1990年に帰国し、91年からはNHK交響楽団の首席オーボエ奏者を努めている。またソリストとしての活動も活発で、ジャズ・ピアニスト山下洋輔氏など各ジャンルを代表するアーティストとの枠にとらわれない斬新な活動が常に注目を集めている。CDもこれまでに多数リリースしており、いずれも高い評価を得ている。
98年にスタートした三鷹市芸術文化センター「オーケストラ人間的楽器学」シリーズを皮切りに、企画・指揮・お話のすべてを自らが行うスタイルのコンサートでも全国的に活躍。これまでに東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、大阪シンフォニカー交響楽団、九州交響楽団、東京混声合唱団などを指揮している。2001年、東京・晴海に開館した第一生命ホールのオープニング・コンサートでは企画を担当し、自ら指揮も務めた。02年には東京芸術劇場においてJ.S.バッハ「マタイ受難曲」（全曲）を指揮して高い評価を得た。
また執筆者としても知られ、その独自の視点と切り口が幅広い層に人気を博している。これまでに「オーケストラ楽器別人間学」（新潮文庫）、「オーケストラは素敵だ」（音楽之友社）など10冊を超える著書がありいずれも人気を博している。2006年には9月から中央公論文庫で連続3冊が刊行され、11月には講談社から「くわしっく名曲鑑賞ガイド」が出版された。趣味は模型（艦船）、落語、料理、ジャズピアノ、まんが。

●須藤梨菜（ピアノ）

1987年生まれ。江口文子、浦壁信二の各氏に師事。98年第6回エトリンゲン青少年国際ピアノコンクール（ドイツ）Aカテゴリー第1位。99年宇都宮市民賞受賞。2003年浜松国際ピアノアカデミーに参加、同コンクールにおいて5位入賞。同年第5回浜松国際ピアノコンクール第4位。05年ピティナ主催第2回福田靖子選考会にて、福田靖子賞受賞（第1位）。06年第7回ダブリン国際ピアノコンクール（アイルランド）において日本人最高位かつ最年少第5位入賞。これまでに、NHK交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団と共演のほか、多数のピアノリサイタルを行うなど国内をはじめイタリア、アメリカ、フランス、イギリス、ドイツ、オーストリアなど国内外に招かれ、数多くの演奏会に出演。06年4月より昭和音楽大学器楽学科ピアノ演奏家コースに在籍中。

●大阪センチュリー交響楽団

大阪センチュリー交響楽団は、大阪府民に親しまれ、府民の誇りとなるオーケストラをめざし、1989年12月に大阪府により設立された。 初代常任指揮者はウリエル・セガル（現名誉指揮者）が、97年4月からは高関健が常任指揮者を務め、2003年4月から首席指揮者に小泉和裕を迎えるとともに定期演奏会は05年4月には100回を数えた。08年4月からは小泉和裕が音楽監督に就任、首席客演指揮者に沼尻竜典を迎え、大阪センチュリー交響楽団は新たなシーンを迎えている。 定期演奏会や特別演奏会などの自主公演をはじめ、依頼を受けての出張演奏のほか、公立オーケストラ活動の一環として養護学校コンサートや青少年のためのオーケストラ体感コンサートなど、様々な企画コンサートを行うとともに、室内楽によるアンサンブル演奏や関西テレビ青少年育成事業団との共催によるセンチュリー・ユースオーケストラの運営やレクチャー「おもしろオーケストラ教室」の開催など、様々な教育プログラムも行っている。 93年「大阪府民劇場奨励賞」、94年「ザ・シンフォニーホール国際音楽賞クリスタル賞」を受賞、また、94年、アメリカ8都市、96年には東南アジア5都市、03年「日中平和友好条約締結25周年記念公演」として杭州、上海で公演。05年には再び上海市において上海交響楽団と合同公演を行うなど国際的にも活動、2管10型（55名編成）の中規模編成という特性を生かした緻密なアンサンブルには高い評価を得ている。